

どうして？ 教えて！

発達障害の理解

2012年5月

東京学芸大学
奥住秀之

第2回 学習障害(LD)の 理解と支援



おくすみ ひでゆき / 1967年神奈川生まれ。東北大学、同大学院で学ぶ。博士(教育学)。専門は障害児心理学。現在、東京学芸大学教育学部准教授、全障研常任全国委員、本誌編集部員。著書に『どうして？教えて！自閉症の理解』、共著に『自閉症児の理解と授業づくり』(ともに全障研出版部)など。

今回は学習障害(LD: Learning Disabilities)を取り上げます。わが国では、1990年代に入ってこの障害への関心が一気に高まりました。特別支援教育への転換は、LDの理解と重なって進んだといっても過言ではないでしょう。

LDに関するこの定義

他の発達障害と比べ、LDの定義を理解する際には注意を要します。なぜならば、日本では医学と教育の定義が混在しており、概念があいまいだからです。

まずは、医学の定義です。前回紹介したICD-10では「学力[学習能力]の特異的発達障害(Specific Developmental Disorders of Scholastic Skills)」という障害名で、特異的読字障害、特異的綴字[書字]障害、特異的算数能力障害[算数能力の特異的障害]、学力[学習能力]の混合性障害、他の学力[学習能力]の発達障害、に分類されています。また、DSM-IV-TRでは「学習障害(Learning Disorders)」という名称で、読字障害、算数障害、書字表出障害、特定不能の学習障害、に分類されてい

どうして？ 教えて！ 発達障害の理解

LDってどういう障害？

マンガ/いば さえみ

